

「原子衝突における電子励起と関連現象：基礎・応用・基盤技術」ワークショッププログラム

(開催趣旨) 原子分子クラスターや固体のような原子多体系に関わる原子衝突における電子励起関連現象の基礎・応用研究の進展のため、上記の筑波大学加速器センター主催ワークショップを開催します。

日時： 2004年3月22日～3月23日

会場： 筑波大学加速器センター大セミナー室 (共同研究棟 C305)

- ・講演時間 30 分の場合、質疑応答 10 分を含みます
- ・OHP または PowerPoint (CD-R または USB メモリーで受付)
- ・ご講演資料のコピーあるいはファイルを頂きたいのでよろしくお願い致します

3月22日 13:25～17:45

13:25～13:30 <開会あいさつ> 工藤 博 (筑波大加セ)

Session A: 座長: 島 邦博

1. 13:30～14:00 高速イオン衝撃による C₆₀ 分子の多重電離状態測定と分解過程との相関: 伊藤秋男 (京大院工)
2. 14:00～14:30 C₆₀²⁻ の生成およびストレージリングを用いたその崩壊の測定: 富田成夫 (筑波大物工)
3. 14:30～15:00 TIARA におけるクラスター加速の現状と展望: 斎藤勇一 (原研高崎)

(休憩 15 分)

Session B: 座長: 伊藤秋男

4. 15:15～15:45 複数原子イオンによるエネルギー付与と電子放出: 金子敏明 (岡山理大応物)
5. 15:45～16:05 高速原子クラスター加速と関連研究の現状: 笹 公和 (筑波大加セ)
6. 16:05～16:35 クラスター衝突による 2 次電子生成: 新井一郎 (筑波大物理)

(休憩 10 分)

Session C: 座長: 城戸義明

7. 16:45～17:15 ビーム照射中における固体物性その場観察: 土田秀次 (奈良女大物理)
8. 17:15～17:45 高速重イオンによる三次元微細加工: 粟津浩一 (産総研)
9. 17:45～18:00 コメント: クラスター応用の立場から: 松尾二郎 (京大院工)

18:10 より懇親会: 筑波大学第二学群小食堂(加速器センターより徒歩 3～4分) 会費 3000 円

3月23日 9:15～11:00

Session D: 座長: 金子敏明

10. 9:15～9:45 タンデムエネルギー領域のイオン荷電状態: 島 邦博 (筑波大加セ)
11. 9:45～10:15 固体表面における大角・単回散乱: 城戸義明 (立命館大物理)

(休憩 10 分)

12. 10:25～10:55 高分子材料へのクラスターイオン衝突: 平田浩一 (産総研)
13. 10:55～11:10 高速原子クラスターの"有効電荷モデル": 工藤 博 (筑波大加セ)

<閉会あいさつ> 島 邦博 (筑波大加セ)